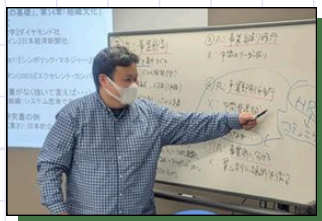


**今月のテーマ 連携大学を紹介します！**

※連携大学とは：九工大の研究力向上戦略に関連して、組織的な連携を図りながら、J-PEAKS事業経費を活用の上、研究力の強化を図る大学。

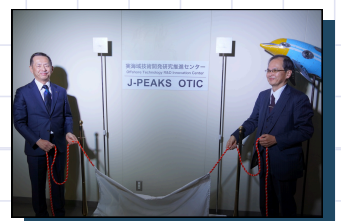
**SURVEY 北九州市立大学との連携による職員意識調査を実施しました**

2025年12月9日～19日にかけて、連携大学である北九州市立大学と協力し、九工大の経営課題解決を目的として職員意識調査を実施しました。対象は九工大の全キャンパスに所属する事務職員、技術職員、業務支援職員、事務補佐員、技術補佐員で、幅広く職員から意見を収集しました。収集したデータは、人材マネジメント論や組織行動論を専門とする、北九州市立大学大学院マネジメント研究科の鳥取部 真己教授の研究グループに分析を依頼し、経営課題解決に向けたアドバイスをいただく予定です。沢山のご回答、ありがとうございました。

**CEREMONY 長崎大学「実海域技術開発研究推進センター」がオープンしました**

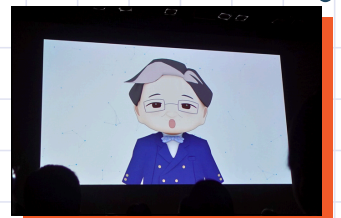
1月23日に開催された長崎大学の実海域技術開発研究推進センター(山本郁夫センター長)の開所式に本学から福本副学長はじめ7名で参加しました。長崎大学は本学のJ-PEAKS事業の連携大学で、本学のカウンターパートは未来社会ロボット実装センター(石井和男センター長)です。看板の除幕セレモニー、長崎大学の永安学長のご挨拶の後、各種の海洋ロボットの実機を見学し、担当の研究者や学生さんの説明を聞きました。実海域技術開発研究推進センターは、「実海域」という名前が示すとおり、海洋ロボットや海洋機器の実海域での社会実装を目指すセンターです。山本センター長も九州工業大学のJ-PEAKSにおける「ディープテックの社会実装による資金の好循環」の取り組みに高い関心を持っています。海洋資源の保護、藻場の育成、海洋プラスチックゴミの回収、洋上風力発電、海底ケーブルなど海洋開発は今後重要性が増していく分野です。長崎大学と本学が共同開発した海洋ロボットが世界中で活躍する日が近いと実感できる式典でした。今後の長崎大学と九州工業大学のコラボレーションにご期待ください。

(経営戦略室 三宅)

**SYMPOSIUM 岡山大学「J-PEAKSシンポジウム」に参加しました**

1月27日に岡山大学で開催されたJ-PEAKSシンポジウム「J-PEAKSによる大学改革の最前線」に九州工業大学から7人参加しました。CSTIの上山隆大参与の基調講演の後、「共にできることは共に」というテーマのパネルディスカッションに千葉大学 山本学長特別補佐、長岡技術科学大学 中山特命副学長と共にパネリストとして本学副学長の三宅さんが登壇しました。岡山大学の大学改革の1つの柱である「脱・教員中心の大学法人経営」を受ける形で、本学の「さん」付け呼称の推奨の取り組みについて紹介し、岡山大学の那須学長からも「大賛成です」とコメントをいただきました。午後からは、「J-PEAKS事務局未来共創ワークショップ」に三宅さん、総務課 用正さん、学生支援課 後藤さん、経営戦略室 吉良さんと共に参加し、他大学のJ-PEAKS担当者とグットプラクティスや連携事業について意見交換を行いました。J-PEAKSの学内浸透について、オンライン・オフライン絡めた広報活動など具体的な検討も行うことができ、貴重な機会となりました。

(経営戦略室 大桶)



↑岡山大学長のアバターが登場！



↑パネリストとして登壇する三宅さん

第8号で「AI for Science」のことを書いたところ、若手から「大学は不要になる？」と質問されました。

私にわかるはずもなく・・・

私は将棋が好きなのですが、覚えてた頃(45年前)「そのうちコンピュータが人間より強くなる。将棋指しは全員廃業する」と言われていて、私もそう信じていました。

2017年にポナンザというAIが佐藤天彦名人に勝ってから約8年。もう人間は永遠にAIには勝てません。それなのにプロ将棋界は藤井聡太君という天才の出現と、「観る将」というファン層の拡大で、かつてないほど盛り上がっています。

AIが45年前に存在していたとしたら、今の将棋界を予想できたでしょうか・・・

MIYAKE
リエゾン
のつぶやき...

**Announcement Board**

info.
1

JSPSのリーフレットが出来ました！

日本学術振興会(JSPS)が作成した、J-PEAKSのリーフレットが完成しました。本学を含む採択25大学の取り組みが紹介されていますので、ぜひご覧ください。

詳細はこちら
学内者専用 Garoonへ